

糸川市 糸川プロジェクト 住宅設計 コンペティション

愛媛県西条市は、海と山に囲まれた風光明媚な場所で、西日本最高峰の石鎚山を背景に、日本一美味しいといわれる水が湧き出る水の都でもあります。この西条市で新たなコンセプトのまちづくり「糸プロジェクト」が進められています。東京大学隈研吾研究室によるマスタープランを基に「エネルギー」、「テクノロジー」、「グリーンインフラ」、「食」、「建築」をキーワードとした実験的なフィールドが展開される予定で、ホテルやマルシェなどがある商業ゾーンと戸建て住宅で形成される住宅ゾーンが計画されています。この住宅ゾーンの90戸を対象に、若手建築家(39歳以下)のための活躍の場とすべくオープンコンペを開催します。90戸は9区画に分けられ、それぞれの区画の設計者を選定します。9組の設計者を選ぶコンペです。実施を前提としたコンペティションですので、ぜひ、奮ってご参加ください。

審査委員長 隈 研吾 (東京大学教授)

審査委員 乾久美子 (横浜国立大学大学院Y-GSA教授、乾久美子建築設計事務所主宰)

馬場正尊 (東北芸術工科大学教授、Open A代表)

馬郡文平 (東京大学生産技術研究所特任講師)

山名正英 (糸プロジェクト実行委員会代表)

登録・作品提出締切 2017年3月6日(月)必着

詳細はホームページをご覧ください <http://www.japan-architect.co.jp/saijo/>

主催:糸プロジェクト実行委員会

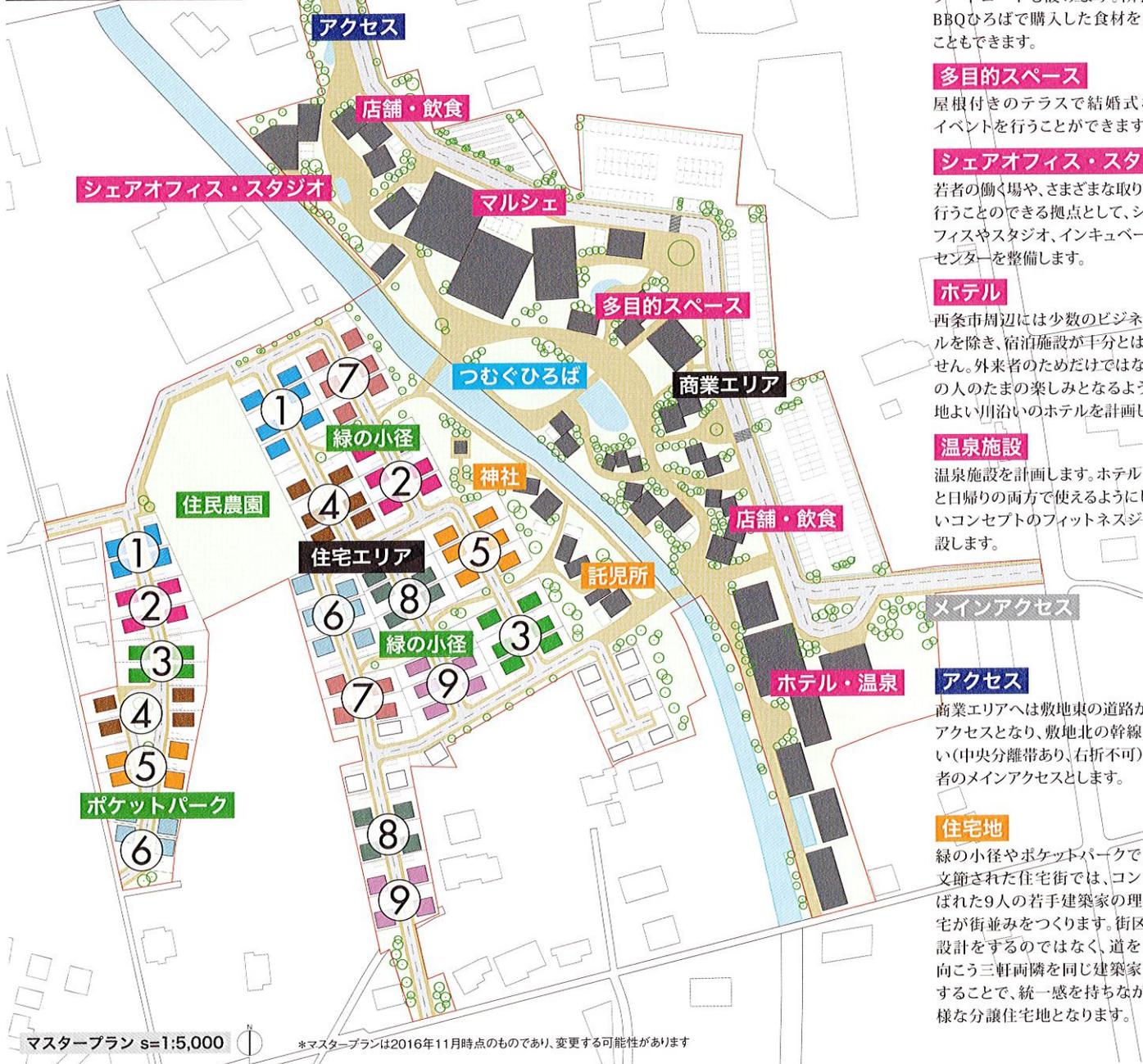
後援:株式会社新建築社

協力:東京大学隈研吾研究室

9組の
設計者を選ぶ
実施コンペ

糸プロジェクト マスタープラン

東京大学隈研吾研究室



マルシェ

地元食材を主に扱う3,000㎡程度のマルシェを計画の核として配置し、フードコートも設けます。隣接するBBQひろばで購入した食材を楽しむこともできます。

多目的スペース

屋根付きのテラスで結婚式などのイベントを行うことができます。

シェアオフィス・スタジオ

若者の働く場や、さまざまな取り組みを行うことのできる拠点として、シェアオフィスやスタジオ、インキュベーションセンターを整備します。

ホテル

西条市周辺には少数のビジネスホテルを除き、宿泊施設が半分とは言えません。外来者のためだけではなく、地元の人々のたまり場となるような、心地よい川沿いのホテルを計画します。

温泉施設

温泉施設を計画します。ホテル利用者と日帰りの両方で使えるようにし、新しいコンセプトのフィットネスジムを併設します。

アクセス

商業エリアへは敷地東の道路がメインアクセスとなり、敷地北の幹線道路沿い(中央分離帯あり、右折不可)は歩行者のメインアクセスとします。

住宅地

緑の小径やポケットパークで適切に文飾された住宅街では、コンペで選ばれた9人の若手建築家の理想の住宅が街並みをつくります。街区ごとに設計をすることで、道を含んだ向こう三軒両隣を同じ建築家が担当することで、統一感を持ちながらも多様な分譲住宅地となります。

マスタープラン s=1:5,000

*マスタープランは2016年11月時点のものであり、変更する可能性があります



街並みのイメージ

コンセプト

人にやさしく、人のつながりを大切にした「エネルギー」「テクノロジー」「グリーンインフラ」「食」「建築」の新しいまちづくりモデルとして、遊びやすく、住みやすく、自然溢れる計画をします。

1 エネルギー

太陽光、うちぬき(湧き水)や地下水によるヒートポンプなど、できる限り再生可能エネルギーを活用した、これまでにないエコビレッジを計画します。

2 テクノロジー

計画の一部で、人工知能をはじめとした先端的なテクノロジーの応用を模索し、カーシェアリングのシステムを取り入れたり、若者のためのインキュベーションセンターや実験スタジオも整備するなど、先端のテクノロジーも積極的に取り入れる実験的なまちづくりを行います。

3 グリーンインフラ

敷地内の川や地形、敷地周辺の自然環境や地域植生を活かしたグリーンインフラを整備し、緑溢れる環境を形成します。川沿いに桜を植えて桜のリバーフロントとし、近隣の桜並木と連続をさせながら、うちぬき(湧き水)を利用した心地よい水景をつくり出します。街と共に成長する地場の高木、神社周りの潜在自然植生、自然な護岸で蜚の誘致、瀬戸内海から石鎚山まで続く多様な植栽を最大限に取り入れます。

4 食

商業エリアは地元の農家や漁師の食材を扱うマルシェを中心とし、購入したものをその場でBBQで楽しめるような、地産地消の食文化を取り戻します。飲食店も地場オーガニック食材を中心に提供し、フードトラックなどの実験的な食の提供の場を整備することで、さまざまなイベントに対応するだけでなく、食の文化を育む土壌の形成を目指します。

5 建築

画一的な住宅エリアではなく、多くの若手建築家が集まってつくる多様で先進的な建築で緑溢れる街並みを形成します。計画初期には、マルシェとホテルに囲まれた「つむぐひろば」「親水ひろば」を中心に、屋台やフードトラック・モバイルハウスなどで仮設的な場の活用を行います。広場では西条祭りの「だんじり」を展示したり、祭りのイベントを行うこともできます。住宅エリアの分譲・建設と共に、段階的に商業エリアの店舗・飲食店・スタジオなどを整備していきます。



つむぐひろばのイメージ



桜のリバーフロントイメージ



賑わいストリートイメージ



西条市のうちぬき(湧き水)



西条祭りのだんじり

若手建築家による、多様で先端的な住宅エリア

若手建築家による住宅エリア形成

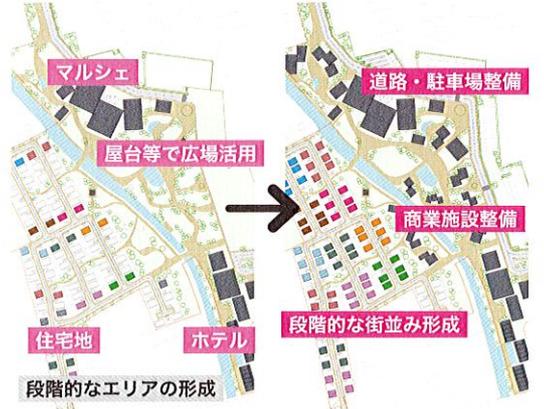
川の西側に、100戸の分譲住宅エリアを計画します。そのうちの90戸を、コンペティションで選ばれた9人の若手建築家が10戸ずつ設計することで多様な街並みを形成します。

道を挟んで並ぶ住宅群

コンペティションの対象となる宅地は、それぞれ道を挟んでグループを構成し「向こう三軒両隣」が同じ建築家によって設計されます。全体で90の敷地は4敷地と6敷地のグループの各9つずつに分けられ、建築家がそれぞれ離れたふたつのエリア計10軒を敷地として計画を行うことで、多様でありながらまとまりのある街区構成とします。道も各建築家のデザインによって多様な表情の街並みとなります。

緑と水の溢れる住宅街

住宅エリアの街路には可能な限り緑を配置し、商業エリアとのバッファゾーンにも多くの自然を計画することで、緑溢れる閑静な環境をつくります。また水も流れる緑の小径やポケットパークも適宜配置され、緑のネットワークが良好な環境を形成します。



向こう三軒両隣の景観を形成する住宅街

審査委員

審査委員長 隈 研吾 (東京大学教授)

審査委員 乾久美子 (横浜国立大学大学院Y-GSA教授、乾久美子建築設計事務所主宰)

馬場正尊 (東北芸術工科大学教授、Open A代表)

馬郡文平 (東京大学生産技術研究所特任講師)

山名正英 (糸プロジェクト実行委員会代表)

コンペ概要

●東京大学隈研吾研究室で作成されたマスタープランを元に、住宅部分90戸の設計案をコンペ形式で広く全国から募集します。

●住宅部分90戸は9区画に分けられ、それぞれの区画の設計者を選定します。9組の設計者を選ぶコンペです(1区画は6戸のグループと4戸のグループに分けられています)。

●9区画の中から1区画を選び提案してください。ただし、1次審査終了後またはコンペ終了後、区画替えをする可能性がありますのであらかじめご了承ください。

審査方法

●2段階方式の審査で、1次審査で18組を選出。2次審査は公開の場で行い、18組によるプレゼンテーション、質疑応答、審査委員による審査会を経て9組を選びます。1次審査通過の18組には、2次審査用制作費として一律20万円を支給します(オリエンテーション、2次審査の交通費等を含む)。

※1次審査通過の組数は審査過程で変更する可能性があります。

応募資格

●個人・グループは問いませんが、代表者の年齢が提出締切時点で39歳以下であること(代表者以外に年齢制限はありません。ただし、ベテランの方ではなく若い方に可能性を差し上げたいと思っていますので、その点を考慮して共同制作者の方を選出してください)。

●代表者は日本国内在住で一級建築士、二級建築士、木造建築士の資格を保有していること。

応募登録

●本コンペに参加するためには、本コンペウェブサイトにある登録フォームから事前に登録を行ってください。必要事項を入力し送信すると、後ほどe-mailで登録番号が交付されます。この登録番号は応募にあたって必要となりますので各人で記録し保存してください。

・交付後の、登録番号に関するお問い合わせには応じることができません。

・複数応募する場合は、作品ごとに登録が必要です。

・応募登録は本ウェブサイト以外からはできません。

・登録後、内容に変更があった場合は再度登録を直してください。

・携帯のメールアドレスでは登録通知の返信メールを受け取れない場合があります。

1次審査用提出物

●提出物1:提案書

A1サイズ(594×841mm)片面横使い1枚。模造紙等の薄い用紙は開封時に破損しやすいため避けてください。額装、パネル化は不可。提案内容は、設計主旨、図面、パース、模型写真、CGなど、設計意図を伝えるもので、表現は自由ですが立体化しないでください。

※また、応募案を同じ内容のPDF形式のファイルを納めたCD-RまたはDVD-Rを提出してください。ファイル名は「登録番号.pdf」としてください(例:登録番号が00185の場合、ファイル名は「00185.pdf」)。

<表面>用紙表面の右下(下端、右端それぞれ1~2cm空けて)に、50ポイント以上の文字サイズで登録番号のみを明記してください(登録番号以外の、応募者を特定できる内容は記載しないこと)。

<裏面>白紙。

●提出物2:設計履歴書

A4サイズ(210×297mm)片面縦使い1枚。書式は自由です。

有資格の登録番号、今までに設計・監理した物件の経歴(用途・規模・立場など)を記載してください。

※用紙の右上に登録番号を明記してください。 ※「設計履歴書」のPDFデータは提出する必要はありません。

※1次審査は応募者名を明かさない「ブラインド審査」で行いますが、応募資格などを事務局で確認するため「設計履歴書」をご提出ください。

提出先

株式会社新建築社「伊予西条 糸プロジェクト 住宅設計コンペティション」係(必ず明記のこと)

〒100-6017 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル17階

tel. 03-6205-4380(代表)

9組の
設計者を選ぶ
実施コンペ

登録・作品提出締切

2017年3月6日(月)必着 送付のみ受付。持ち込み、バイク便不可。

1次審査結果発表

2017年3月中旬

1次審査通過18組に通知するとともに、本コンペのウェブサイト公开发表します。

1次審査通過者オリエンテーション

2017年3月24日(金) 会場:東京都内を予定しています。

2次審査用提出物

●プレゼンテーション用のパワーポイントデータなど。

詳細は1次審査結果発表時に通過18組にお知らせします。

●プレゼンテーションは代表者の方にさせていただきます。

2次審査

2017年4月15日(土) 会場:愛媛県西条市を予定しています。

2次審査は公開の場で行います。18組によるプレゼンテーション、質疑応答、審査委員による審査会を経て9組を選びます。

最終結果発表

月刊「新建築」2017年6月号、および本コンペのウェブサイトにて発表します。

決定9組について

●最終審査で決定した9組には、提案をベースに実施可能かを協議し、双方合意に達した場合、コンペ主催者で開発事業者の糸プロジェクト実行委員会と設計業務を契約していただきます。

●設計業務は基本設計、実施設計、申請図書、見積調整で、確認申請手続きと現場監理については糸プロジェクト実行委員会と契約を結んでいる地元の設計事務所が行います。

●各区分間の調整などは、全体のデザイン監修者である東京大学隈研吾研究室が行います。

その他

・応募作品は未発表のものに限ります。

・同一作品の他設計競技との二重応募は失格となります。

・応募作品の一部あるいは全体が他者の著作権を侵害するものであってはなりません。また、雑誌や書籍、ウェブサイトなど著作物から複製した画像を使用しないこと。著作権侵害の恐れがある場合は主催者の判断により選出決定を取り消すことがあります。

・応募作品について、後日著作権侵害やその他の疑義が発覚した場合は、すべて応募者の責任となります。

・本コンペ応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、入賞作品の発表に関する権利は主催者が保有します。

・応募作品は返却いたしません。

・応募後の、応募者による登録内容の変更は受け付けません。内容に変更があった場合は、改めて登録番号を取得してください。

・応募者の個人情報、当該コンペに関するもののみ限り使用することとし、ほかの目的は一切使用いたしません。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.japan-architect.co.jp/saijo/>